

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

しずおか匠の家

グループの名称

しずおか木の家ネットワークス

直近採択グループ番号

06-0091-0427

(グループ代表者)

代表者名	平岡 伸浩	代表者印
代表者所属先	株式会社リメックス	
代表者所在地	静岡県静岡市駿河区八幡3丁目21-1	
代表者電話番号	054-280-5488	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社マルチ	
事務局担当者名	川口 隆一	印
事務局郵便番号	421-1224	
事務局所在地	静岡県静岡市葵区飯間5番地4	
事務局電話番号	054-278-0310	
事務局FAX	054-278-0240	
事務局担当者E-mail	maruchi-kawa@aoi.tnc.ne.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	しずおか匠の家
2. グループの名称(必須)	しずおか木の家ネットワークス
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0091-0427
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	静岡県内の6地域全域
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	平岡 伸浩
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社リメックス
8. グループ代表者所在地(必須)	静岡県静岡市駿河区八幡3丁目21-1
9. グループ代表者電話番号(必須)	054-280-5488
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社マルチ
11. グループ事務局担当者名(必須)	川口 隆一
12. グループ事務局郵便番号(必須)	421-1224
13. グループ事務局所在地(必須)	静岡県静岡市葵区飯間5番地4
14. グループ事務局電話番号(必須)	054-278-0310
15. グループ事務局FAX番号(必須)	054-278-0240
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	maruchi-kawa@aoi.tnc.ne.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	10	原木供給事業者において、一部の事業者の本社が国外にあり、念書入手が不可能な為、登録を行っていない。
II. 製材・集成材製造・合板製造	18	一部の事業者の本社が国外にあり、念書入手が不可能な為、構成員の出荷者による合法証明によって代替する。
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	11	
IV. プレカット	10	
V. 設計	26	
VI. 施工	30	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1. 都道府県の産地認証制度等によるもの 2. 民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3. 林野庁作成の「木材・木製製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4. クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木製製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材	3	国内		
		外材	3	国外		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	4	国内		
		外材	4	国外		
	しずおか優良木材	静岡県	しずおか優良木材認証制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		45	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	5	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		25	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸			
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		20	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		10	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		10	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		3	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		10	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積	0棟						
				0㎡						
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0棟		0㎡				
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長期優良住宅の実績なしの工務店を優先し、各施工会社に原則1棟ずつ配分する その他の戸数については、事務局が追加希望を募り、抽選の上で配分する 高度省エネ型は、性能が高い住宅に対して優先配分する									
	長寿命型(長期優良住宅)									
	採択戸数		30	戸	交付申請戸数	27	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	27	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	採択戸数		2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	採択戸数		1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)										
採択戸数		3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸	
優良建築物型										
採択棟数		0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積		0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) しずおか匠の家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県内の6地域全域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) しずおか木の家ネットワークス	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0091-0427	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	南海トラフ巨大地震対策として、耐震性を重視する。 夏の暑さ対策、冬のヒートショック対策として、省エネ性に優れた断熱性を重視する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	豊富な森林資源を活用して、主要構造材(土台、柱、梁、桁)において、50パーセント以上のしずおか優良木材、若しくは合法木材認証制度における木材を使用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	軒や庇の導入などの温熱対策により、長い日照時間など地元の気候風土と調和したデザインを推進する。	◎
④①～③の背景	①今後30年以内に80%の確立で南海トラフ巨大地震が発生すると予測され、官民とも防災意識が高い。また、暖かい地域ではあるが、ヒートショックで亡くなる人が多い地域である。 ②森林の資源が豊富で、自治体は優良木材認証制度等の施策を整備、利用促進している。 ③気候が温暖で、全国上位の年間日照時間に恵まれているため、断熱に関する関心が低い。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	内装材に地域材を利用。自然エネルギーの有効活用。建物に被災時備蓄スペースを確保。県産の水、食料の備蓄を標準化する。 防蟻処理の際、住宅取得者の健康に配慮し、極力薬剤を使用していない材料を推奨する。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: しずおか優良木材、若しくは合法木材で定められた品質規格基準の用材を使用する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 使用建材をホルムアルデヒド発散建材を定める告示による規制対象外となっているものに統一する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 『しずおか匠の家』の標準仕様を作成し、各施工構成員に配布する。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 『しずおか匠の家』の標準仕様に基づき、材料を共同購入することによりコストダウンを図る。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 調達先を選定し、調達用の書式を統一することにより合理化を図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 合理化検討委員会を設置し、住宅生産の合理化を図る。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 新商品の収集と周知活動、合理化検討委員会の招集、申請手続き事務、グループ内の標準仕様の勉強会を行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 瑕疵保険事故の大半を占める防水事故を防ぐため、防水施工基準を定める。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 検査用のチェックリストを作成し、検査後事務局へ提出する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 建物本体価格についての見積り表示方法として、建築主に分かりやすい書式をグループとして統一する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構造・完成見学会を実施し、エンドユーザーに対し、『しずおか匠の家』の品質を確認できる機会を提供する。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局にて週休2日に相当する労働カレンダーを作成、配布し週休2日制の導入を支援する。	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 元請け構成員が物件ごとに下請業者の技能や施工に関する顧客アンケートを行い、アンケートの評価に基づき表彰を行う様に推奨する。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 社会保険加入を徹底させる。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各構成員の経営職及び管理職に向け、事務局が主催・共催または協賛する労務管理セミナーの受講を推奨する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	しずおか優良木材のチラシを配布する。 建築現場の廃材、プレカット工場の端材を地元製材組合に集約、同組合のバイオマス発電に利用し、廃材処理の合理化を図る。 『しずおか木の家ネットワークス』のオリジナルカタログを作成し周知活動に活用する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) しずおか匠の家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県内の6地域全域		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) しずおか木の家ネットワークス	(結成年) 2012 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0091-0427			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅履歴情報の蓄積			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 契約書・図面一式・見積書をデータ形式で蓄積する。	◎	
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: いえかてで正会員の第三者機関による住宅履歴情報サービスを活用する。	◎	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 対象物件ごとの共通IDを使用し、建築主、施工者、事務局が相互確認が出来るようにする。	◎	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ独自の点検チェックフォームに基づいた点検を行う。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ独自の点検結果に基づいた補修を行う。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報サービスに蓄積し、相互確認ができるようにする。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主催で、年度ごとに3回、OB施主に対し勉強会を実施。住まい手の現状を把握する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主催で、年度ごとに3回、OB施主に対しDIY体験会を実施する。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員ごとに、現場見学会の時に、相談会を実施する。	◎
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会を設置し、点検計画書を作成。委員会主催で、構成員向けの勉強会を開催する。	◎		
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引き渡し時に『お手入れマニュアル』をエンドユーザーに配布する。	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の施工技術者が廃業または倒産した場合は、事務局がグループ内の継承可能な業者を斡旋し、維持管理体制を守る。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局または外部団体が主催する勉強会の情報を、各構成員に発信する。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	施工店によるエンドユーザーへの定期的な訪問、DMの送付、イベントの案内などを行う。		◎	
エ. グループの技術力の向上				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主催で未経験の施工構成員を対象に、住宅施策の勉強会や施工技術を習得する為の勉強会を年度3回開催する。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 使用建材メーカーの施工研修を行い、品質管理に努める。	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局へ施工写真を提出し、事務局でチェック確認する。	◎	
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『しずおか匠の家』普及に向けた需給計画を策定する。	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『しずおか木の家ネットワークス』全構成員で定期的に研修会を行い、技術力の向上に努める。	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『しずおか木の家ネットワークス』各業種ごとに意見交換会を行い、合理化を図る。	◎	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 31 今年度の参加目標人数 15	◎	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 12 今年度の参加目標人数 10	◎	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 参加予定構成員名簿を作成し、未講習構成員を把握する。省エネ技術講習会の開催日時を連絡し参加を促す。	◎	
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 太陽光をはじめとした、自然エネルギー、スマートウェルネスなどの新技術、新発想をテーマとした勉強会を年に1回位グループで行う。	◎	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) しずおか匠の家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県内の6地域全域												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) しずおか木の家ネットワークス	(結成年) 2012 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0091-0427													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄														
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	一棟当たりの主要構造材の50%以上をしずおか優良木材、もしくは合法木材認証制度における木材で占める。 使用量:約120㎡の住宅で主要構造材が10㎡の場合、概ね5㎡以上使用する。 地域材使用量の割合:しずおか優良木材認証制度による杉・松を100%、もしくは合法木材証明制度による松・杉・米松KD・RW集成材・WW集成材を100%とする。 ※テクノストラクチャーの場合 使用量:約120㎡の住宅で主要構造材が約4㎡の場合、概ね2㎡以上使用する。 地域材使用量の割合:しずおか優良木材認証制度による杉・松を20%以上、合法木材証明制度による松・杉・米松KD・RW集成材・WW集成材を80%以内とする。												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>【補足 地域型住宅の地域材の供給の代表的な流れ】</p> <p>※この図は代表的なフロー図である為、例外的に異なる場合がある。 ※合法木材認証制度の一部においては、産地・出荷者が特定できない場合があるが、構成員の出荷であれば合法性の証明によって代替できる。 ※I・原木供給、II・製材・集成材製造・合板製造の一部において、I・原木供給業者やII・製材・集成材製造業者が国外である為、本申込書において必要とされる念書の入手が不可能であった為、I・原木供給、II・製材・集成材・合板製造への登録を行っていない。</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組み	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 静岡県森林組合連合会の木材情報を構成員へ発信する。原木供給者と連携する。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組み	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 静岡県森林組合連合会の木材情報を構成員へ発信する。原木供給者と連携する。												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局主導による定期的な情報交換会を実施する。												
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地元の職人による造作家具、若しくは木製建具の導入を推奨する。												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 窓設置は、採光・風通しに加え、富士山の景観にも極力配慮する。												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 静岡県推奨の家・庭一体の家づくりをする。												
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	事務局主催のOB施主向け相談会や構造見学会、完成見学会において、みかん・竹細工・茶など静岡の地場産業団体の出展を要請し、しずおか優良木材とともに地場産業のPRIに努める。												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄														

東日本大震災の復興に資する取組	被災地域の木材や資材を活用する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

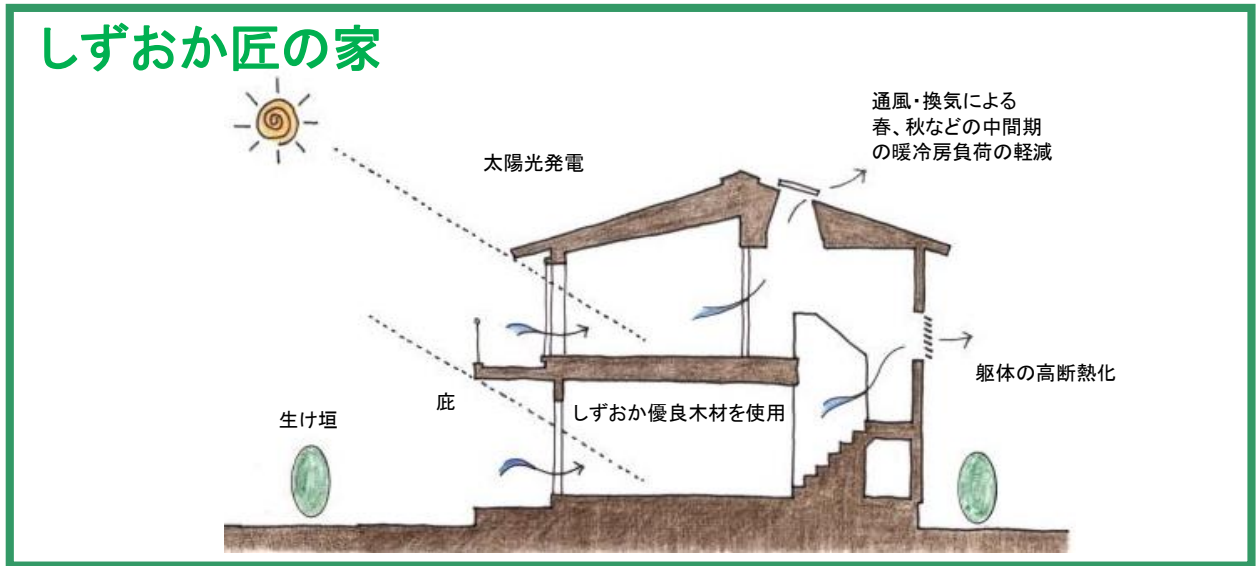
1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) しずおか匠の家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県内の6地域全域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) しずおか木の家ネットワーク	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0091-0427	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型・優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。



①認定低炭素住宅

- ①しずおか優良木材を使用した木造住宅もしくは木造建築物。
- ②節水トイレを使用する。

②性能向上計画認定住宅

- ①しずおか優良木材を使用した木造住宅もしくは木造建築物。
- ②創エネより省エネを重視する。

③ゼロエネルギー住宅

- ①エネルギー削減率: Rを105% R0を28% 以上とし、外皮性能: UAを0.58W/m²・K 以下とする。
- ②創エネより省エネを重視する。

④優良建築物

- ①内外装の木質化を図る。
- ②地域材を使用する。
- ③創エネ機器の設置を推奨する。